

## ●モンゴル

### 消費者信頼感指数(CCI)

モンゴルの消費者信頼感指数(CCI)は、2021年の第1四半期にわずかに上昇した。COVID-19関連の検疫による経済の縮小により、雇用機会が減少し、ビジネス状況が悪化し、現在の状況に対する消費者の評価が低下した。しかし、雇用機会への期待が高まっているため、近い

将来のビジネス状況、収入に対する消費者の期待は高まっている。

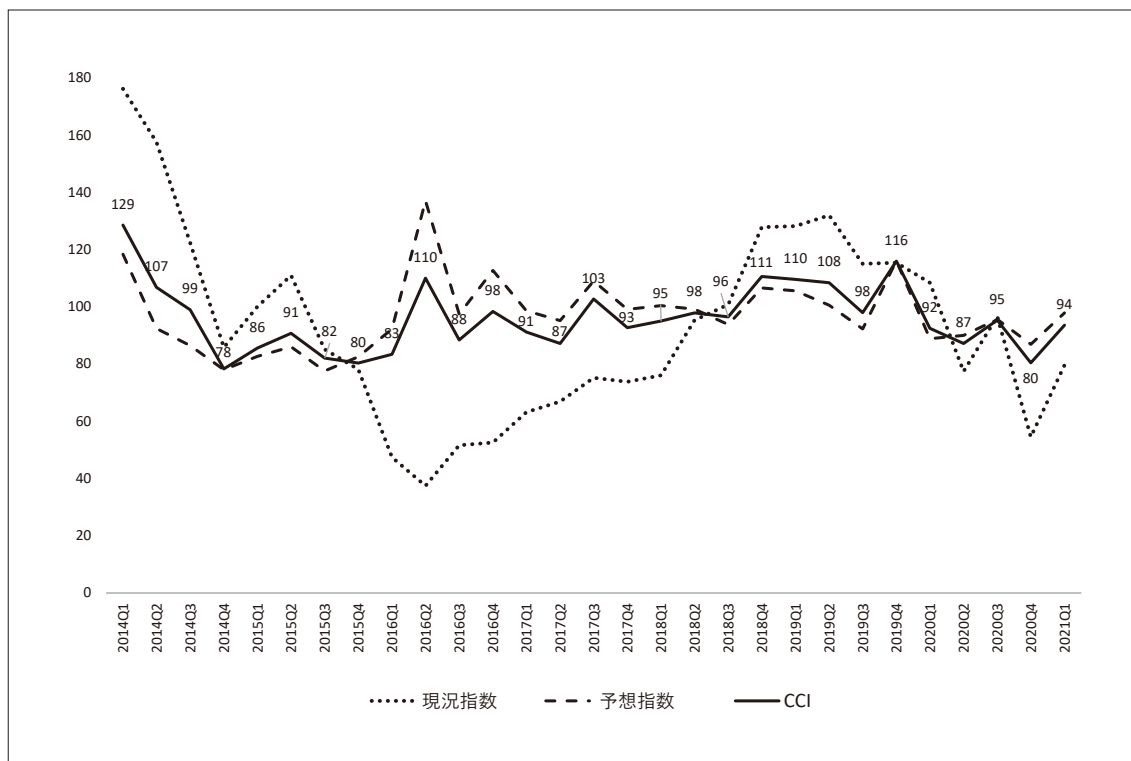
2021年第1四半期の調整後のCCIは、経済の現在および将来の状態に対する消費者の見方が改善されたため、前四半期から14ポイント増加した。

調整後の指数は、経済が正常な状態であった2018年と比較した消費者の楽観と悲観を反映している。指数が100の場合、消費者信頼感とは2018年と同じレベル

である。100未満は2018年と比較して悲観的であることを示し、100を超える場合は楽観的であることを示している。

2021年第1四半期の時点で、ウランバートルのCCIは86であった。現況指数は41で、予想指数は117であった。農村部の消費者信頼感とは都市部より低く、CCIは78であった。ただし、東部地域のCCIは94で、ウランバートルよりも高くなっている。中部、西部、ハンガイ地域の消費者

図 消費者信頼感指数(CCI) (2018年基準)



	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2020年 1Q	2020年 2Q	2020年 3Q	2020年 4Q	2021年 1Q	2021年 4月	2021年 5月	21年 1-5月
実質 GDP 成長率(対前年同期比:%)	1.2	5.3	7.2	5.2	▲ 5.3	▲ 10.7	▲ 9.1	▲ 3.1	▲ 0.3	15.7	-	-	-
鉱工業生産額(対前年同期比:%)	12.3	13.0	4.8	2.4	▲ 5.2	▲ 17.1	▲ 14.7	0.2	10.9	48.4	87.0	23.3	51.1
消費者物価上昇率(対前年同期比:%)	1.1	4.3	6.8	7.3	3.7	6.1	3.6	2.4	2.7	2.5	5.6	6.2	3.9
登録失業者(千人)	34.4	25.5	25.0	20.8	18.1	19.4	19.6	17.8	18.1	-	-	-	-
失業率(%)	10.0	8.8	7.8	10.0	-	6.6	6.6	7.3	7.6	8.8	-	-	-
対ドル為替レート(トゥグルグ)	2,148	2,441	2,473	2,664	2,813	2,757	2,799	2,847	2,851	2,850	2,850	2,850	2,850
貨幣供給量(M2)の変化(対前年同期比:%)	21.0	30.5	22.8	7.0	16.3	3.8	5.5	9.8	16.3	22.9	32.3	30.4	30.4
融資残高の変化(対前年同期比:%)	6.1	9.6	26.5	5.1	▲ 4.9	▲ 1.8	▲ 4.6	▲ 4.4	▲ 4.9	2.9	3.0	6.2	6.2
不良債権比率(%)	8.5	8.5	10.4	10.1	11.7	10.7	11.0	11.4	11.7	11.5	11.3	11.1	11.1
貿易収支(百万 USドル)	1,558	1,863	1,137	1,492	2,282	▲ 126	494	851	1,064	477	59	187	722
輸出(百万 USドル)	4,916	6,201	7,012	7,620	7,576	1,036	1,792	2,319	2,429	2,000	496	827	3,324
輸入(百万 USドル)	3,358	4,337	5,875	6,128	5,294	1,162	1,299	1,468	1,366	1,524	438	640	2,602
国家財政収支(十億トゥグルグ)	▲ 3,660	▲ 1,742	3	▲ 628	▲ 4,539	▲ 276	▲ 1,922	▲ 541	▲ 1,800	▲ 96	▲ 394	▲ 376	▲ 866
国内貨物輸送(対前年同期比:%)	20.0	15.3	14.6	7.4	1.1	▲ 6.3	▲ 8.5	1.9	17.0	15.7	-	-	-
国内鉄道貨物輸送(対前年同期比:%)	7.9	9.1	13.5	13.5	10.3	10.8	12.6	13.0	5.0	4.7	3.1	▲ 5.9	1.7
国内道路貨物輸送(対前年同期比:%)	78.4	33.6	17.3	▲ 6.6	▲ 24.5	▲ 54.5	▲ 68.8	▲ 19.9	73.1	91.7	-	-	-
成畜死亡数(対前年同期比:%)	132.0	▲ 38.8	197.0	▲ 58.0	85.0	89.2	78.0	78.4	98.0	87.9	16.6	31.3	52.9

(注) 消費者物価上昇率、登録失業者数、貨幣供給量、融資残高、不良債権比率は期末値、為替レートは期中平均値。

(出所) モンゴル国家統計局『モンゴル統計年鑑』、『モンゴル統計月報』各号 ほかに基づきERINA調査研究部主任研究員 Sh. エンクハヤル作成

は、他の地域よりも悲観的で、CCIはそれぞれ73、74、82であった。

2021年第1四半期には、耐久消費財の需要は2020年の平均レベルと比較して大幅に減少した。また、前年同期のレベルと比較しても減少した。この減少は主に、自動車および主要な家電製品および家具の需要の減少によるものである。今後6か月で、消費者の11.4%が車の購入を計画し、6.2%が不動産の購入を計画し、10.1%の世帯が大型家電製品の購入を計画している。

2021年第1四半期の時点で、今後6か月の予想インフレ率は7.2%と推定されている。前年同期の2倍になり、前四半期から1ポイント上昇した。2020年第3四半期の調査による2021年第1四半期までの6か月間の予想インフレ率は3.7%であった。期間中の実際のインフレ率は2.1%であった。

四半期 CCI の調査が開始された2014年の第1四半期以降、6か月の予想インフレ率は平均3.4%だったが、実際のインフレ率は2.2%であった。

2022年の第1四半期のインフレ率は9.1%になると予想されている。前年同期比3.6ポイント上昇している。2021年の第1四半期の年間インフレ率は5.6%と予想されていたが、実際のインフレ率は2.5%であった。2014年の第1四半期以降、予想される年間インフレ率は平均5.2%だったが、実際のインフレ率は4.7%だった。

調査参加者の37.8%は、米ドルの為替レートが前年度から2.2ポイント低下すると予想している。消費者は今後6か月間で1ドル=2900トゥグルグ の為替レートを予想している。2021年第1四半期の実際の米ドルの為替レートと比較すると、予想為替レートは約50トゥグルグ高くなっている。

住宅価格予想指数は、来年の住宅価格変動に対する消費者の認識に基づいて算出されている。消費者が住宅価格が安定していると予想している場合、この指数は1となる。消費者が住宅価格の上昇を予想している場合、指数は1より大きく、消費者が価格の低下を予想している場合、指数は1より小さくなる。2021年第1四半期には、指数は急激に上昇し、1.3になった。

国立調査コンサルティングセンター (NRCC) 所長  
 モンゴル国立大学経済学部准教授  
 バトチュルン・アルタンツェツェゲ  
 モンゴル国立大学モンゴル日本人材開発センター所長  
 ツェンドグワール・ダワードルジ  
 NRCC 研究員  
 モンゴル国立大学経済学部准教授  
 バトベヘ・ソヨルマー